

分類	セッション名	日にち	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者	セッション言語	領域
シンポジウム1	Science of Uremic Toxins	6月18日(金)	9:00-11:00	120分	第2会場	3階 G301+G302	ウレミックキシンが腎臓をはじめとする全身の臓器に作用するメカニズムを学び、腎臓病患者の全身管理を議論する。特に腸内細菌叢とウレミックキシンの関連をフォーカスする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	英語	
シンポジウム2	日本腎生検レジストリー/日本腎臓病総合レジストリー	6月18日(金)	9:00-10:00	60分	第7会場	4階 G401+G402		○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：病理医）	日本語	腎臓病対策委員会
シンポジウム3	遺伝性腎疾患研究最前線：国内で行われている最先端の研究に触れる	6月18日(金)	9:00-11:00	120分	第9会場	4階 G414+G415	遺伝性腎疾患に関して近年国内から多数のすぐれた研究成果が報告されたり、今後報告される予定である。これらの研究に関する最新の知見を研究者自ら発表し、最新の知識を身につけると共に、遺伝子から見た腎臓の機能を改めて認識することでその知見を深めることを目的とする。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患
シンポジウム4	腎病理CME 系統的腎病理教育シリーズ：係蹄上皮細胞障害を考える	6月18日(金)	16:00-18:00	120分	第7会場	4階 G401+G402	腎生検病理診断の基礎教育を目的とした講習会「腎病理夏の学校」に続く、腎生検病理診断学の継続的な学習の機会を提供します。特徴的所見のきちんとした捉え方（若手向き）に始まり、鑑別診断（若手～中堅向き）-典型例～関連する希少例の呈示（中堅～シニア向き）-最近の知見（全聴衆へ）へ発展することで、病態を系統的に理解し、会員の継続的なスキルアップにつなげる企画です。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：病理医・腎臓内科医）	日本語	日本腎病理協会
シンポジウム5	腎代謝センサー分子と代謝適応応答～新しいOmicsがもたらした実像～	6月18日(金)	16:00-18:00	120分	第8会場	4階 G403+G404	オミクス医療（Omics-based Medicine）研究、すなわちゲノム、トランスクリプトーム、プロテオーム、メタボローム、インタラクトーム、セロームなど様々な網羅的な分子情報であるOmics解析の急速な進展はMetabolic reprogramming、つまり代謝適応応答とそれを司る代謝センサー分子の腎における真の機能の捕捉をもたらした。当セッションでは、HIF-PHDに次ぐ治療標的たり得る“次世代”の「腎代謝応答分子の実像」を知ることで、代謝臓器としての腎の「臓器力」を改めて考查したい。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：炎症、免疫、生化学）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
シンポジウム6	嚢胞性腎疾患：現在の課題を認識し未来におけるより良い診療を創造するためのシンポジウム	6月18日(金)	16:00-18:00	120分	第9会場	4階 G414+G415	遺伝解析法の進歩が、嚢胞性腎疾患の病態理解や診断法、そして治療法の発展に果たしてきた役割は大きい。ここで扱う代表的4つの嚢胞性腎疾患については、治療が可能となってきたもの、まだ治療法が見つからないもの、あるいはまだ診断も困難なものと様々な段階にある。このシンポジウムを通じ参加者が現在ある課題を共有し、これから必要な臨床研究・基礎研究を立案できるような内容としていく。そして、未来のより良い嚢胞性腎疾患診療へと繋がることを期待して企画した。なお、最後の1演題は現在日本で発表が漸増している謎の嚢胞性腎疾患を取り上げ、日本における症例集積のきっかけとなり、研究が促進されることを期待している。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患
シンポジウム7	小児から成人へのシームレスなネフローゼ診療	6月19日(土)	9:00-11:00	120分	第2会場	3階 G301+G302	ネフローゼ症候群は小児科と腎臓内科で独自の診療・研究が行われてきた。遺伝学背景など様々な知見が蓄積してきた。2020年に改定された小児ネフローゼガイドラインと成人のガイドラインとの違い、AYA世代の治療を含め、世代を超えたシームレスな診療戦略について考える。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：小児）	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患
シンポジウム8	腎臓内科医が知っておくべき腎移植領域の合併症管理	6月19日(土)	9:00-11:00	120分	第3会場	3階 G303+G304	腎臓内科医が腎移植領域で必要とする知識を網羅的に得ていただく機会を設ける。特に高齢者における腎移植・腎移植領域の悪性腫瘍にスポットライトを当てたシンポジウムとなる。診療報酬改定の面からも、移植に精通した医師だけが語り合うのではなく、非腎移植施設の会員を中心に聞いていただきたい内容となっていると考えます。	○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	ESRD（移植含む）
シンポジウム9	CKD患者のQOL – 患者中心の評価の視点と新たな指標の探索 –	6月19日(土)	9:00-11:00	120分	第7会場	4階 G401+G402	腎疾患対策報告書の全体目標としてCKDの重症化予防の徹底とともにCKD患者のQOLの維持向上が掲げられている。これまでの内外の疫学研究、臨床研究における様々な視点からのCKD患者のQOLの評価に関する知見を整理し、我々が今後着目すべきアウトカムと評価の指標を議論する。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：看護、栄養、リハビリテーション、医学教育）	日本語	CKD
シンポジウム10	理解が深まる！水・ナトリウム代謝の新知見	6月19日(土)	9:00-11:00	120分	第9会場	4階 G414+G415	水・食塩代謝領域において次世代を担う気鋭の若手基礎研究者で構成されるセッション。最新の研究成果について議論を深める。	○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	水電解質・酸塩基平衡、骨ミネラル代謝

分類	セッション名	日	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者	セッション言語	領域
シンポジウム11	COVID-19がダイバーシティ推進に与えた影響	6月19日(土)	14:00-15:30	90分	第2会場	3階 G301+G302	腎臓学会ではじめてのダイバーシティ推進委員会の企画となります。学会活動において男女共同だけでなくダイバーシティを推進するうえでCOVID-19はアクセルになった面もブレーキがかかった面も両面あったと考えます。アクセルとなったことはさらに推進し、ブレーキがかかった面はニュートラルにもしたうえでアクセルをふんでいくためにいっと総括したいと考えました。すべての職制、職種、老若男女に聞いていただけるセッションにしたいと思います。		日本語	ダイバーシティ推進委員会
シンポジウム12	ゲームチェンジャーの登場？新薬による水電解質・酸塩基異常の新しい治療法	6月19日(土)	14:00-15:00	60分	第3会場	3階 G303+G304	水電解質・酸塩基域において登場した新薬について第一線で活躍する臨床家にその臨床的意義と使用法について解説頂く。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	水電解質・酸塩基平衡、骨ミネラル代謝
シンポジウム13	保存期におけるCKD-MBD管理：Pros and Cons	6月19日(土)	14:00-16:00	120分	第7会場	4階 G401+G402	保存期CKD患者では、ステージ進行とともにFGF23上昇、1,25(OH)2D低下、PTH上昇、P上昇、Ca低下などの変化が出現します。しかし、これらをどのようにマネジメントすべきか、未だコンセンサスは得られていません。そこで本企画では、この分野のオピニオンリーダーの先生に集まって頂き、それぞれの立場からESRD後を見据えて行うべき保存期CKD-MBDの管理に関して議論をして頂きたいと思います。	○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	ESRD（移植含む）
シンポジウム14	ビッグデータベースの臨床応用の現状と未来（日本医療情報学会合同企画）	6月20日(日)	9:00-11:00	120分	第1会場	1階 G3+G4	ビッグデータベースによるリアルワールドデータの臨床応用およびエビデンス創出の現状と将来展望について、臨床研究を目指す学会員と情報共有する。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	
シンポジウム15	腎性貧血治療update2021－変わるものと変わらないもの、HIF-PH阻害薬登場によって－	6月20日(日)	9:00-11:00	120分	第2会場	3階 G301+G302	新規腎性貧血治療薬としてHIF-PHIが使用可能となり、腎性貧血治療に新たな選択肢が加わった。本剤がESAと並ぶ有効性を有することは論を待たないが、最適な対象患者像、目標ヘモグロビン値、最適な鉄補充療法のあり方など、今後実臨床で検討されるべき課題は多い。またCKDやCVDの進行に与える影響や悪性腫瘍への懸念など、基礎研究からの外挿が不可欠な課題も残されている。本セッションでは上記の問題点に対して最新の情報提供を行う。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家	日本語 （海外演者は英語）	CKD
シンポジウム16	超高齢化社会における腎硬化症に対する戦略的アプローチ：今、密かに増加中の腎硬化症にどう対応すべきか？	6月20日(日)	9:00-11:00	120分	第8会場	4階 G403+G404	加齢による腎臓の組織学的変化は、“不可逆的”に進行した慢性腎臓病における組織学的変化と同じく腎臓の尿管間質線維化であり、慢性腎臓病は「腎性老化」が加速する病態と捉えることもできる。また、近年末期腎不全の原疾患として腎硬化症が増加傾向を呈しており、加齢、高血圧、動脈硬化の影響も大きくなっており、腎硬化症の糖尿病性腎臓病の病態への関与も指摘されている。本シンポジウムでは、腎硬化症の病態理解に基づく治療戦略を学ぶ。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	高血圧、心血管系
シンポジウム17	電解質道場 探偵編 症例コンサルテーションに学ぶ名探偵の思考過程	6月20日(日)	9:00-11:00	120分	第9会場	4階 G414+G415	ASN KidneyNewsのDetective Nehpronをオマージュした内容。演者とコメンテーターのやりとりにより進行し、電解質異常の診断アプローチを学ぶ。スマートフォン等の投票システム・チャットシステムを利用し参加者からの意見も取り入れる。	○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	水電解質・酸塩基平衡、骨ミネラル代謝
シンポジウム18	糖尿病における心腎連関－最新知見が語る真実とは－（日本糖尿病学会合同企画）	6月20日(日)	14:00-16:00	120分	第1会場	1階 G3+G4	JDDM54studyが発表され、本邦糖尿病症例では尿アルブミン陰性のeCKD（eGFR30ml/min/1.73mm ² 以上）では、心臓・腎臓ともリスクになっていないことが示された。今一度、糖尿病性腎臓病における予後規定因子などを確認し、治療標的も再考する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	CKD
シンポジウム19	腎代替療法指導管理の現状と課題（日本透析医学会合同企画）	6月20日(日)	14:00-16:00	120分	第7会場	4階 G401+G402	R2年度診療報酬改定において腎代替療法指導管理料が算定できるようになった。1年が経過した現状と課題について検証する。特に患者が高齢化してきており、保存期における腎臓内科医のかかり方について、医事、移植推進など所轄委員会の活動に関連した内容と考えた。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：腎臓病療養指導士）	日本語	企画・渉外委員会
共同研究セッション	International comparison in epidemiology of chronic kidney disease	6月20日(日)	9:00-10:30	90分	第10会場	4階 G416+G417	日本を代表する慢性腎臓病コホートであるCKD-JAC研究、アメリカを代表するCRIC研究との共同研究、ならびに国際比較研究であるINET-CKDの研究成果を通じて、慢性腎臓病における疫学研究について学ぶ。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：循環器病学、糖尿病学等）	英語	

分類	セッション名	日	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者	セッション言語	領域
ワークショップ1	DNA障害・ゲノム不安定性および細胞老化から腎臓病を考察する	6月18日(金)	9:00-11:00	120分	第2会場	3階 G301+G302	老化モデルに共通するのは「DNA損傷」であり、遺伝子変異が老化の原因と考えられてきた。しかしながら、DNA損傷はサーチュインを含むDNAやヒストン修飾を介したエピゲノム変化も誘導して、老化の原因となることも明らかとなっている。「細胞老化」は、「細胞癌化に対する生理的防御バリアー」である一方で、「SASPを通じて慢性炎症や発癌を促進する」という負の側面も判明した。このセッションでは「DNA損傷」や「細胞老化」の観点からの腎臓病に対する理解を進めたい。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：基礎研究）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
ワークショップ2	未踏の頂き AKIへの挑戦	6月18日(金)	9:00-10:30	90分	第8会場	4階 G403+G404	生命予後が不良なAKIの予後改善を目指して、以下の議論を推し進めて現状の対策と今後への期待を共有する。病態を把握及び予後予測するバイオマーカーやストレステストを検証する。大規模研究で検証されている腎代替療法の適切な開始のタイミングに関して整理して臨床現場へどのように還元するかを検討する。敗血症性ショックに対するearly goal-directed therapy(EGDT)の有用性が示さなかった現状で新たなケアバンドルの現状を検証する。また、基礎研究から今後有望だと思われる新規薬剤を情報共有する。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家	日本語	AKI
ワークショップ3	各種ガイドラインにおけるCKD診療－これだけは知っておくべき他分野からみたCKD診療の基本知識－	6月18日(金)	16:00-17:30	90分	第2会場	3階 G301+G302	最近、いろいろなガイドラインが出てきているが、その中でCKD患者はどのように取り扱われているか、あるいは各種ガイドラインの推奨はCKD患者に適用できるかという観点で、ガイドライン作成者の先生にご講演いただき、議論したい。	○ 学生 ◎ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家	日本語	CKD
ワークショップ4	医療従事者のためのリスクコミュニケーション術	6月20日(日)	15:30-17:00	90分	第10会場	4階 G416+G417	専門家が一般市民とリスクコミュニケーションする機会が増えている。医療分野でも新型コロナウイルス感染症の拡大により、マスメディアを介した情報発信は格段に増えている。マスメディアには、記事の事前チェックが出来ないこともあるなど、業界独自の慣習があり、取材対応時、対応後に戸惑うことも多い。患者などとの直接のリスクコミュニケーションの場合においても、専門性の高い内容をいかにわかりやすく説明し、理解度を高めるかは重要な課題である。医療従事者としてのリスクコミュニケーションのあり方について、新型コロナウイルス感染症拡大や東日本大震災に伴う報道や専門家のコメントなどを事例として考える。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	
ワークショップ5	腎生検病理診断コンサルテーション・アンド・レビュー	6月19日(土)	15:00-17:00	120分	第9会場	4階 G414+G415	腎臓学会会員全員に広く案内を出し、日常の腎生検症例の中で結論が出ていない診断困難例を応募してもらったうえで、それらの症例に対し腎臓病レジストリー委員・腎病理標準化小委員が解析して病理診断を行う。3症例について病理診断をするとともに、集まった症例をまとめた形で臨床病理的メッセージをレビューを行う。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：病理医）	日本語	腎臓病対策委員会
ワークショップ6	腎臓病療養指導士の活動の実際	6月20日(日)	9:00-11:00	120分	第7会場	4階 G401+G402	腎臓病療養指導士制度が開始して3年が経過し、各地域で独自の取り組みが始まっている。しかし、具体的な活動についてまだ模索が続いている段階である。本企画では、各職種より、具体的な活動のノウハウや好事例を地域や所属施設の形態別に示すことにより、療養士活動を促進することを目指す。	○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：すべての医療スタッフ）	日本語	多職種・患者会
教育講演1	GLP-1製剤の腎治療にもたらす光明～第二のインスリンはどう駆使すべき？～	6月18日(金)	10:00-11:00	60分	第7会場	4階 G401+G402	経口GLP-1アナログ製剤がもたらす腎への価値、治療におけるstarting pointと目指すべきend pointの実践的指標を基礎研究成果、最新の臨床治験から解説する。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：炎症、免疫、生化学）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
教育講演2	分子標的薬による糸球体・尿管障害	6月18日(金)	10:30-11:30	60分	第8会場	4階 G403+G404	近年分子標的薬の使用頻度が増加するに伴い、腎副作用への対応を求められる頻度も増えてきた。本研究講演では、分子標的薬の腎障害についての基礎と診療についての理解を深める。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	糸球体病変、間質病変
教育講演3	ADPKD and ADTKD：病態を理解して治療しよう	6月18日(金)	11:00-12:00	60分	第9会場	4階 G414+G415	ADPKDは多くの医師が遭遇するcommonな遺伝性腎疾患である。他方ADTKDもその発症頻度は不明ながらも決してまれではなく、腎臓科医が日常診療で遭遇する可能性の高い疾患である。共に常染色体優性疾患であり、臨床経過や画像所見も類似することもあるため、混同されることも多い。それらの病態を理解し、正しく理解することを目的とする。診断方法、治療方法につき、病態とリンクさせながら、またエビデンスを提供いただきつつ教育講演をしていただく。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前）	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患

分類	セッション名	日	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者	セッション言語	領域
教育講演4	新型コロナ診療における腎臓専門医の役割	6月19日(土)	17:30-18:30	60分	第2会場	3階 G301+G302			日本語	
教育講演5	加齢による下部尿路症状を理解する	6月19日(土)	15:00-16:00	60分	第3会場	3階 G303+G304	下部尿路症状は「年のせい」、「はずかしい」などの理由より、中々診断されにくいのが現状である。また尿路解剖学的疾患、機能的疾患、感染症、睡眠障害、多飲多尿など様々な原因が複雑に関与しており、病態把握が困難である。しかし、高齢者や女性において下部尿路症状は年々増加しており、QOLの低下などを引き起こすなど今後重要と考えられる。また下部尿路症状の一つである尿閉や膀胱尿管逆流は腎後性腎不全を引き起こす危険性があるため、腎臓専門医として必要な知識の一つである。	○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患
教育講演6	補体と腎疾患	6月19日(土)	16:00-17:00	60分	第3会場	3階 G303+G304	近年、C3腎症やatypical HUSなど、補体・補体制御因子の異常による病態が明らかになるとともに、エクリンマブやアパコパンなど補体を標的とした治療薬が開発され、腎疾患にも使用されつつある。補体・補体制御因子の腎疾患への関与と、これらを標的とした治療の可能性について解説していただく。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（補体研究者）	日本語	糸球体病変、間質病変
教育講演7	慢性腎臓病患者に対する骨粗鬆症薬の使い方	6月19日(土)	16:00-17:00	60分	第7会場	4階 G401+G402	CKD患者は腎機能低下に加え、閉経後、加齢、糖尿病、ステロイド内服など骨粗鬆症の要因を数多く有します。しかし、骨粗鬆症に対する薬剤をいかに使用すべきか不明な点が多く、腎臓専門医であっても適切な薬剤の選択は難しいのが現状です。本企画では、CKD患者における骨粗鬆症薬のエビデンスをまとめて頂いた上で、実践的な処方の方、使用する際の注意事項などについて講演して頂きたいと思っております。	○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	ESRD（移植含む）
教育講演8	移植腎病理 入門編	6月19日(土)	14:00-15:00	60分	第9会場	4階 G414+G415	移植腎病理は自己腎病理と異なる点も多く、腎移植実施施設においても難渋するケースが多い。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：腎移植）	日本語	ESRD（移植含む）
教育講演9	研究倫理・医療倫理の最新知識（研究倫理・医療倫理に関する研修会）	6月19日(土)	13:50-14:50	60分	第10会場	4階 G416+G417	これまでの研修会に準じて、最新の研究倫理・医療倫理の情報を共有することをご提案致します。	腎臓学会員	日本語	倫理委員会
教育講演10	保存的腎臓療法：いつ、誰が、何のために、どう行っか	6月20日(日)	11:00-12:00	60分	第2会場	3階 G301+G302			日本語	
教育講演11	慢性腎臓病、糖尿病、高血圧に対するIoT/ICT治療の可能性：最先端IoT/ICT治療は腎臓病治療を変えうるか？	6月20日(日)	11:00-12:00	60分	第7会場	4階 G401+G402	生活習慣病に対する効果的なソリューション戦略には、対面式に比較して時間的・空間的制約が少ないIoT/ICTの活用も有力な方法と考えられる。これまでに2型糖尿病患者や生活習慣病予備群を対象に、IoT/ICTを用いて生活環境において測定・取得したデータを可視化・個別自動フィードバックを実施することによって自己管理を支援し、行動変容・意識変容を促進して血糖コントロールの改善効果を明らかにしてきた実績があり、現在AMED研究などにおいて糖尿病性腎臓病における効果も検討中の演者に講演いただき、腎臓領域のIoT/ICT治療の発展について知る。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	高血圧、心血管系
教育講演12	慢性腎臓病、高血圧の病態とネフロン数：日本人は腎臓が弱い？その理由に迫る！	6月20日(日)	11:00-12:00	60分	第8会場	4階 G403+G404	日本と米国でのCKD大規模コホート研究の比較からは、日本では米国と異なりCKD患者では全般的にCVD合併リスクより末期腎不全到達リスクが高いとされている。その理由として、日本人の腎臓ネフロン数は相対的に米国人に比べて元々少ないために腎障害リスクが高いという可能性が指摘されている。それも踏まえて、本教育講演では、臨床におけるネフロン数推算の現状と意義を理解する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	高血圧、心血管系
教育講演13	オルガノイド研究の最前線	6月20日(日)	11:00-12:00	60分	第9会場	4階 G414+G415	最近のオルガノイド研究の最先端をご教示いただく。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：基礎研究者）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験免疫）
教育講演14	Patient Reported Outcomeを用いた腎臓病患者のQOL評価	6月20日(日)	14:00-15:00	60分	第2会場	3階 G301+G302			日本語	
教育講演15	医療費の経済学	6月20日(日)	15:00-16:00	60分	第2会場	3階 G301+G302			日本語	
教育講演16	CKD患者の心不全	6月20日(日)	14:00-15:00	60分	第3会場	3階 G303+G304			日本語	

分類	セッション名	日	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者	セッション言語	領域
教育講演17	高血圧と腎臓（日本高血圧学会合同企画）	6月20日(日)	15:00-16:00	60分	第3会場	3階 G303+G304	2022年に国際高血圧学会を主催する日本高血圧学会理事長の伊藤裕先生にご登壇いただき、高血圧と腎臓の講演をいただくとともに、腎臓学会員に国際高血圧学会参加の呼びかけ及び、当学会からエールを送り、両学会の結束をアピールする。	○ 学生 ◎ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：高血圧）	日本語	学術委員会
教育講演18	腎細胞がんの治療の進歩	6月20日(日)	14:00-15:00	60分	第9会場	4階 G414+G415			日本語	
教育講演19	日本の電解質異常のガイドラインは必要か？作成可能か？	6月20日(日)	15:00-16:00	60分	第9会場	4階 G414+G415			日本語	
特別連続企画＜腎生100年を目指して＞1	腎臓診療における遠隔医療とIT－Society 5.0に向けたデジタル腎ケア－	6月19日(土)	9:00-11:00	120分	第8会場	4階 G403+G404	腎生100年時代に必要な腎臓ケアのNew Normalの確立を目指す。オンライン診療・遠隔医療・アプリケーションの活用の実際を学び、Society 5.0に向けた腎ケアを確立する方策を検討する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家	日本語	
特別連続企画＜腎生100年を目指して＞2	胎生期からのライフステージによる病態リスクと対策	6月19日(土)	14:00-16:00	120分	第8会場	4階 G403+G404	両親由来のエピゲノム変化や胎児環境は腎臓の発生・発達、さらに将来のCKDリスクとなりうる多彩な非感染性疾患（NCD）発症に関与する。また妊娠・出産により腎臓は影響を受け、妊娠高血圧症候群は長期的なCKDリスクになる。これらの病態を基礎的・臨床的背景を含めて概説し、腎百寿をめざした早期からの対策について、女性のライフイベントも含めてディスカッションする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家	日本語	
特別連続企画＜腎生100年を目指して＞3	進化から考えるネオ腎病態系	6月20日(日)	14:00-16:00	120分	第8会場	4階 G403+G404	「腎臓は何故生まれ、生命の進化とともにどのように変容して環境適応を可能にしたのか？」を紐解くことにより、あらたな腎臓病態論を唱え、未来医療につなげていくことを提唱する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（腎臓研究者）	日本語	
Special Session＜Can Japanese evidence change the world?＞1	RCTs on MBD from Japan	6月18日(金)	16:00-18:00	120分	第3会場	3階 G303+G304	最近日本からも優れたRCTが出てきているが、観察研究と結果が異なったり、ネガティブな結果がしばしば見られる。この理由を理解し、より良いエビデンスを蓄積するスタートにしたい。		英語	
Special Session＜Can Japanese evidence change the world?＞2 (シンポジウムより変更)	Clinical Practice Patterns of ESRD Patients (Clinical Practice Patterns of ESRD Patients:Can Japanese Evidence change the World?より変更)	6月20日(日)	13:30-16:00	150分	第10会場	4階 G416+G417	様々な国際比較から日本の末期腎不全患者の良好な予後が示されている。それでは、全てにおいて日本の診療パターンが諸外国に受け入れられているかという点、そうでない場合も多い。このシンポジウムでは、日本が一番、という前提をあえて無視して、その根拠がグローバルエビデンスとなりうるのか、逆に変わるべきところはどこなのかを検討したい。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：透析専門医）	英語	
理事長企画	Japan Kidney Summit：腎臓病の克服を目指して-総力を決して腎臓病を克服する	6月19日(土)	9:00-11:30	150分	第1会場	1階 G3+G4			日本語	理事長企画
理事長講演		6月19日(土)	11:30-12:30	60分	第1会場	1階 G3+G4			日本語	
総会長特別企画1：特別講演	デジタルによる身体性	6月18日(金)	16:00-17:00	60分	第1会場	1階 G3+G4	メディアアーティスト、教員、起業家等多様な活躍で知られる落合陽一先生の特別講演を企画しました。計算機自然（デジタルネイチャー）と呼ぶ自然科学や芸術といった枠にとらわれない新規学術分野を提唱し、推し進めている独創的な研究活動やポストコロナ時代の学術活動における表現手法など研究の一端をご紹介します。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	総会長特別企画
総会長特別企画2	宇宙医学の実際と今後の展望～JAXAつくば宇宙センターからのメッセージ	6月19日(土)	14:00-16:40	160分	第1会場	1階 G3+G4	総会長企画として、宇宙航空研究開発機構JAXAつくば宇宙センターと共同で宇宙医学のシンポジウムを企画しました。土井元宇宙飛行士の基調講演に始まり、国際宇宙ステーション「きぼう」実験、今後計画されている月周回飛行計画での動物実験など、宇宙学、宇宙医学、宇宙での動物実験の現状や今後の展望を解説してもらいます。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	総会長特別企画

分類	セッション名	日	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者	セッション言語	領域
総会長特別企画3	かかりつけ医、コメディカル、腎専門医の診療連携によるCKD患者の予後改善効果の検証	6月20日(日)	9:00-12:00	180分	第3会場	3階 G303+G304	日本医師会、日本栄養士会の全面協力のもと実現した腎戦略研究FROM-Jの長期フォローアップ結果から、生活習慣病の教育介入のレガシー効果の意義、糖尿病、CKDのアウトカム研究～臨床疫学研究、データサイエンスへと発展、展開した研究の潮流と今後の展開について討論する。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：栄養士）	日本語	総会長特別企画
総会長講演	未来へ架ける腎臓学～新たなるステージへ～（仮）	6月18日(金)	15:00-16:00	60分	第1会場	1階 G3+G4		○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	総会長特別企画
招請講演	Epidemiology and clinical outcomes in advanced CKD（仮）	6月18日(金)	11:00-11:50	50分	第1会場	1階 G3+G4		○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	英語	
Asian session・APSN CME joint symposium	Asian nephrology after COVID-19	6月18日(金)	9:00-11:00	120分	第10会場	4階 G416+G417	新型コロナウイルスの世界的感染拡大により診療、学生・研修医教育のみならず、学会の在り方についても変化が求められている。ここではポストコロナ時代におけるアジアの腎臓病学、腎臓領域の診療の変化と方向性について、アジア各国の主要学会理事長を中心に講演していただき、それぞれの取り組みなどの情報を共有し、今後を展望する。APSN CMEとのjoint symposiumとしても行い、国内外の若手腎臓医の参加を促し、議論する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
JSN/ASN Joint Symposium		6月19日(土)	9:00-11:00	120分	第10会場	4階 G416+G417	これまで例年継続されてきたASN-JSN Joint symposiumを継続することで、ASNとの連携を強化する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
JSN/ERA-EDTA Joint Symposium	Immunology and the kidney	6月19日(土)	15:00-17:00	120分	第10会場	4階 G416+G417	これまで例年継続されてきたERA-EDTA-JSN Joint symposiumを継続することで、ERA-EDTAとの連携を強化する。今回より、従来のシニア1名、若手1名に加えて、Young Nephrologist Platformとそのcounterpartからなる若手枠を作ることが提案され、Leadership meetingで合意を得ている。YNPIについては旅費がかからないVirtualでの参加が検討されている。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
JSN/KDIGO Joint Symposium	New Concept of AKD and Recent KDIGO Activities	6月18日(金)	16:00-17:30	120分	第10会場	4階 G416+G417	最近のKDIGOのトピックスと活動について知る。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
JSN/KDIGOセッション		6月20日(日)	10:30-12:00	90分	第10会場	4階 G416+G417			英語	
大島賞受賞講演		6月18日(金)	14:00-14:30	30分	第1会場	1階 G3+G4			英語	
CSA (Clinical Scientist Award) 受賞講演		6月18日(金)	14:30-15:00	30分	第1会場	1階 G3+G4			英語	
YIA (Young Investigator Award) 受賞講演		6月20日(日)	14:00-14:45	45分	第3会場	3階 G303+G304			英語	